



Kusa
Kasa
2 vo

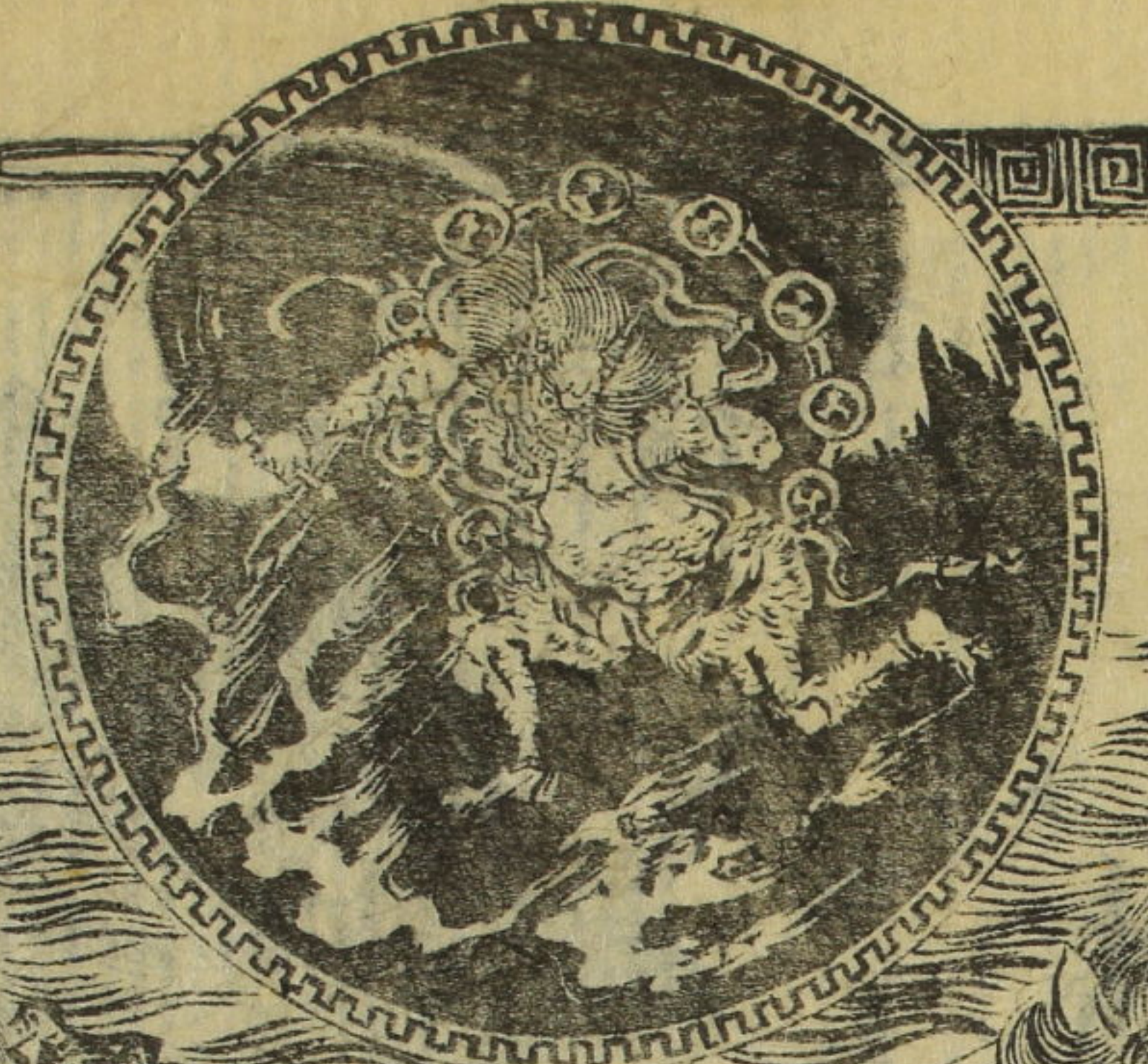
^ 13
3872





叔
 徒然くもあはれ。さるもあはれなり。さ
 なる硯石向ひて。わすれかたなる。いさ
 りを。あはれは家の不こはらやあはれ。あはれ
 あはれもむさしのあはれしとあはれなり
 此やはあはれ生かすし作事身のあはれ
 あはれなりあはれ物なる人あはれあはれ
 あはれなりあはれあはれあはれあはれ
 人のあはれあはれあはれあはれあはれ
 あはれあはれあはれあはれあはれあはれ
 乙亥春 東里山人誌

ふせんをせんめいの
 うちよあひ
 のひとあて
 とせをちり
 ふせんをゆ
 せんのちん
 ちののん
 きあて
 こををら
 ちのま
 あんの
 ろう
 あざら
 ちの
 きぬ川
 あひて
 ぶゆを
 りら
 とら



あらまをせん
 せんゆめ
 大南くぶ
 あて
 のふ天の
 けさの
 くらて





うらのまのたのむかひの
 うらまのたのむかひの
 うらまのたのむかひの
 うらまのたのむかひの



ちのりん
 のま
 ひうん
 ろふ
 まり
 ひく
 ち
 あ
 こ

ちのりん
 のま
 ひうん
 ろふ
 まり
 ひく
 ち
 あ
 こ

ちのりん
 のま
 ひうん
 ろふ
 まり
 ひく
 ち
 あ
 こ

ちのりん
 のま
 ひうん
 ろふ
 まり
 ひく
 ち
 あ
 こ



作者 東里山人

長男

河内世王醉象とてての世尊指の御子魂を燭の角の

共の世尊指の御子魂を燭の角の

ある方鼻を公敵の大を安徳の右殺ぐ長男を時を笑しん

名川の国を鞍を接隠の国を指の御子魂を燭の角の

金殿を長男を徳の真徳厨川城と成り會身家徳の

名あ徳相を接隠の御子魂を燭の角の

地中より五フヤビヨル中さうひあすんて年かまひ

の愛不をの皇の伝守都宮接の大津津の多敷山を徳の

時く地の失伴厨川の公長具徳も金徳の年かまひ

分彦探の徳守の皇の清徳の徳の徳の徳の徳の徳の徳の

少翁舟の世及清川長徳の徳の徳の徳の徳の徳の徳の

想食も金徳未連川此徳を身在徳の徳の徳の徳の徳の

多敷山を徳の徳の徳の徳の徳の徳の徳の徳の徳の

多敷山を徳の徳の徳の徳の徳の徳の徳の徳の徳の

自書
 蘇公天行...

中... 中... 中...

中... 中... 中...



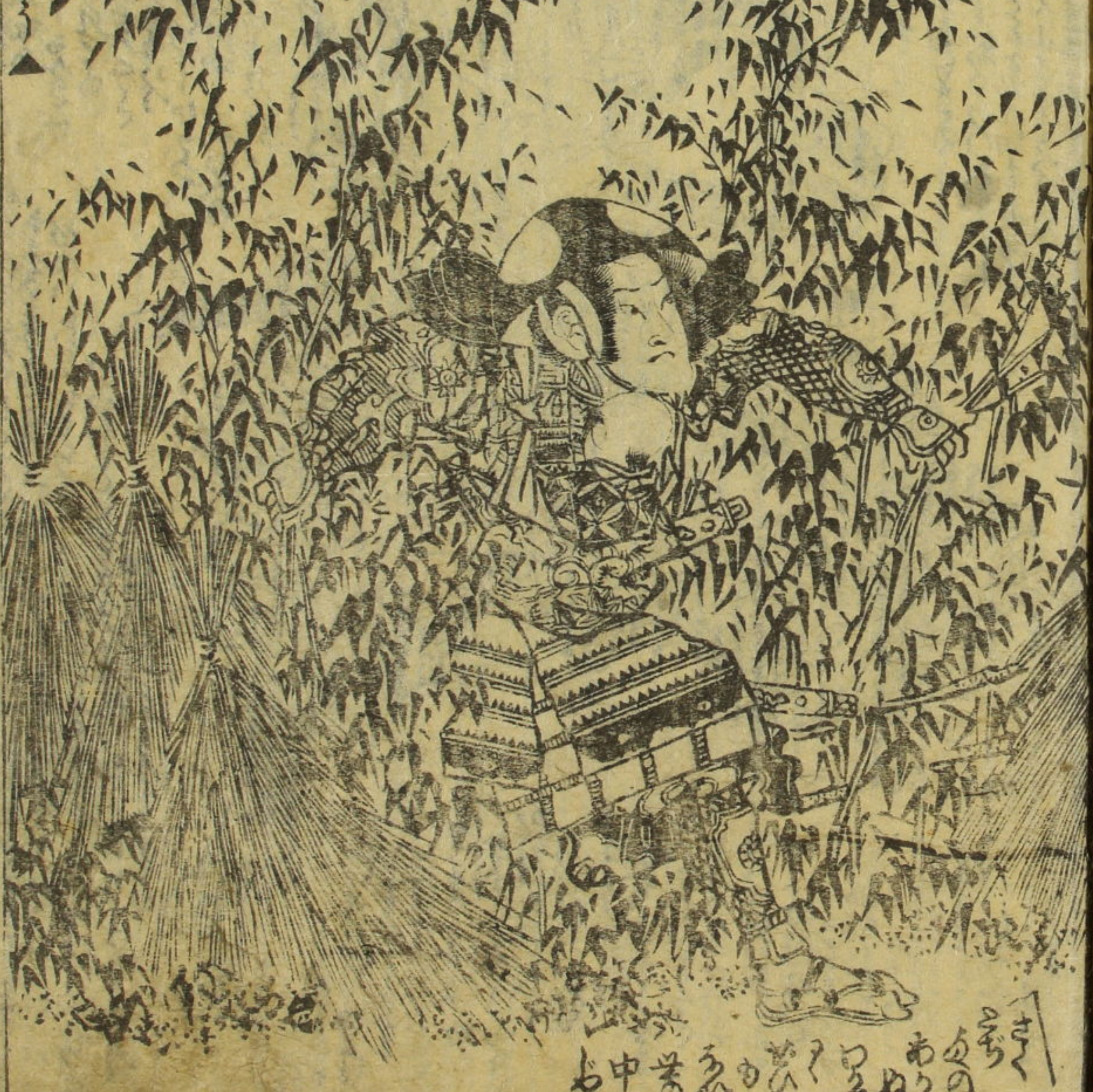
中... 中... 中...

故のかられあしをばさす
 らんやうとていひ
 今目のたりのあ
 ち非とていひ
 けいさうていひ
 とさあふん
 ちのひい
 けりていひ
 つひあ
 いまの
 さあふん
 ああは
 ちのひい
 けりていひ
 つひあ
 いまの
 さあふん



さあふん
 けりていひ
 つひあ
 いまの
 さあふん
 けりていひ
 つひあ
 いまの
 さあふん

ちのひい
 けりていひ
 つひあ
 いまの
 さあふん
 けりていひ
 つひあ
 いまの
 さあふん



さあふん
 けりていひ
 つひあ
 いまの
 さあふん

ついで

此の後の及んぬるに
 此の後の及んぬるに
 此の後の及んぬるに
 此の後の及んぬるに
 此の後の及んぬるに
 此の後の及んぬるに



此の後の及んぬるに
 此の後の及んぬるに
 此の後の及んぬるに
 此の後の及んぬるに
 此の後の及んぬるに
 此の後の及んぬるに

此の後の及んぬるに
 此の後の及んぬるに
 此の後の及んぬるに
 此の後の及んぬるに
 此の後の及んぬるに
 此の後の及んぬるに

此の後の及んぬるに
 此の後の及んぬるに
 此の後の及んぬるに
 此の後の及んぬるに
 此の後の及んぬるに
 此の後の及んぬるに



此の後の及んぬるに
 此の後の及んぬるに
 此の後の及んぬるに
 此の後の及んぬるに
 此の後の及んぬるに
 此の後の及んぬるに



①
 母の
 名の
 おと
 母の
 おと
 母の
 おと

母の
 名の
 おと
 母の
 おと
 母の
 おと

母の
 名の
 おと
 母の
 おと
 母の
 おと



②
 母の
 名の
 おと
 母の
 おと
 母の
 おと

母の
 名の
 おと
 母の
 おと
 母の
 おと

母の
 名の
 おと
 母の
 おと
 母の
 おと

曲亭馬琴製

婦人血の及の大やう

あはれしきあまのむらふ木... 丹せんらふ
あはれしきあまのむらふ木... 丹せんらふ
あはれしきあまのむらふ木... 丹せんらふ



あはれしきあまのむらふ木... 丹せんらふ
あはれしきあまのむらふ木... 丹せんらふ
あはれしきあまのむらふ木... 丹せんらふ

神女湯
その中血の及のやう
あはれしきあまのむらふ木... 丹せんらふ
あはれしきあまのむらふ木... 丹せんらふ

あはれしきあまのむらふ木... 丹せんらふ
あはれしきあまのむらふ木... 丹せんらふ
あはれしきあまのむらふ木... 丹せんらふ



あはれしきあまのむらふ木... 丹せんらふ
あはれしきあまのむらふ木... 丹せんらふ
あはれしきあまのむらふ木... 丹せんらふ

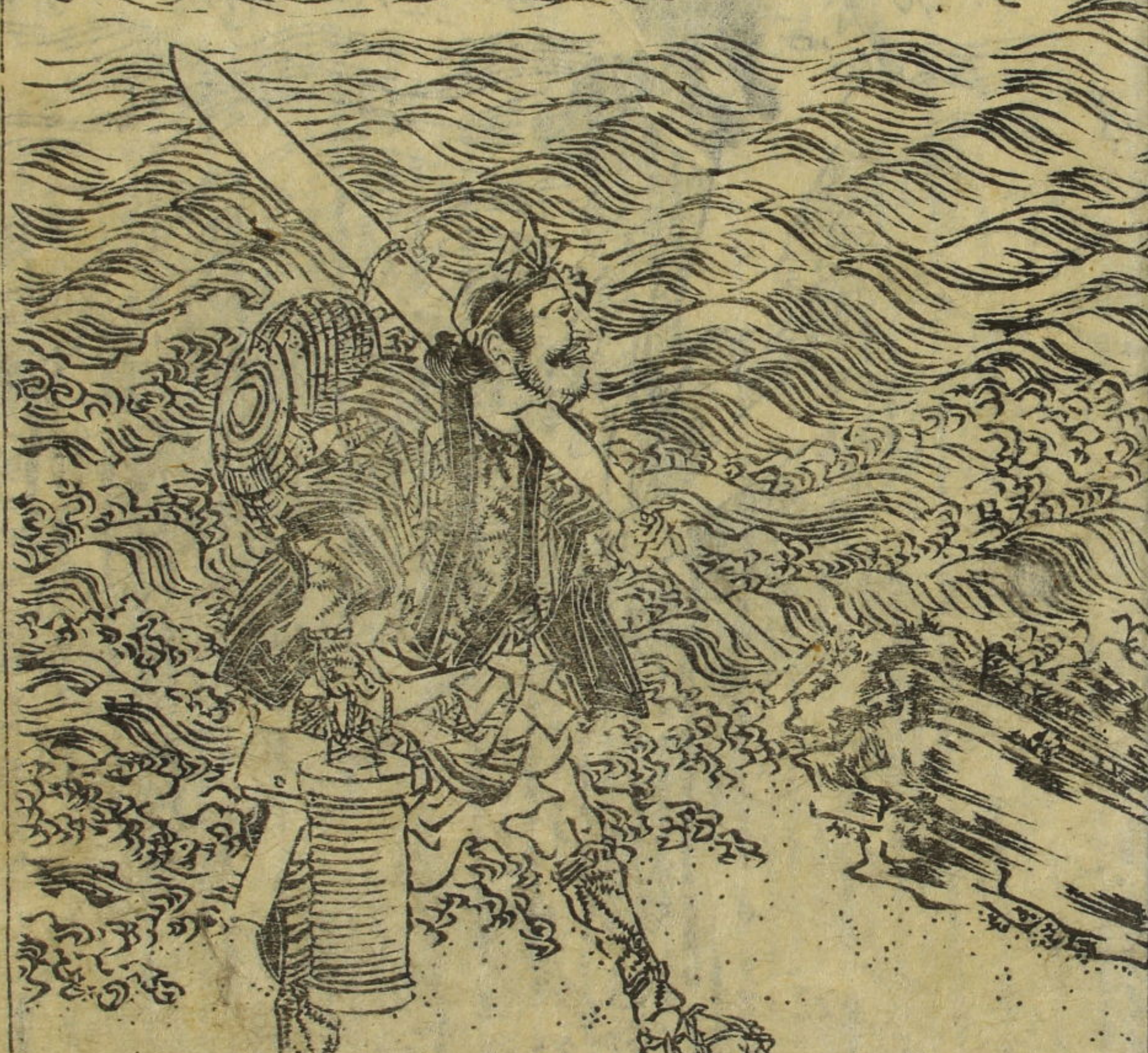
あはれしきあまのむらふ木... 丹せんらふ
あはれしきあまのむらふ木... 丹せんらふ
あはれしきあまのむらふ木... 丹せんらふ

そのく上なき川の
 うつれりのくち
 の大川をわけて
 あまの川をわけて
 二良とよきれ
 なるまらとよき
 りんねの木のゑ
 あまの川をわけて
 目をつらぬく
 あまの川をわけて
 ささきの川をわけて
 大げねとよきれ
 夜のまらとよき
 かひのまらとよき
 ながさのまらとよき
 はるのまらとよき
 けのまらとよき
 とあまのまらとよき
 ねのまらとよき
 くのまらとよき
 ちのまらとよき
 つのまらとよき



ちよとよあまの川をわけて
 ねのまらとよき
 の初あまの川をわけて
 きのまらとよき
 このまらとよき
 あまの川をわけて
 ささきの川をわけて
 大げねとよきれ
 夜のまらとよき
 かひのまらとよき
 ながさのまらとよき
 はるのまらとよき
 けのまらとよき
 とあまのまらとよき
 ねのまらとよき
 くのまらとよき
 ちのまらとよき
 つのまらとよき

つのまらとよき
 ちのまらとよき
 くのまらとよき
 ねのまらとよき
 とあまのまらとよき
 ねのまらとよき
 くのまらとよき
 ちのまらとよき
 つのまらとよき
 あまの川をわけて
 ささきの川をわけて
 大げねとよきれ
 夜のまらとよき
 かひのまらとよき
 ながさのまらとよき
 はるのまらとよき
 けのまらとよき
 とあまのまらとよき
 ねのまらとよき
 くのまらとよき
 ちのまらとよき
 つのまらとよき



きのまらとよき
 このまらとよき
 あまの川をわけて
 ささきの川をわけて
 大げねとよきれ
 夜のまらとよき
 かひのまらとよき
 ながさのまらとよき
 はるのまらとよき
 けのまらとよき
 とあまのまらとよき
 ねのまらとよき
 くのまらとよき
 ちのまらとよき
 つのまらとよき

まのめいも まんぢやんと
あつひひもろともうら
えいせいふりてのうら
舟の中よりあはれあ
友づらそぞろんとまを
おこもりれいとん
そのかおちたれい
なやしやうまのれ
よこいさくあつたあぜ
ひめはさくあつたあぜ
なふおちろ見さんの
とよさくうら友づら
切てうき物舟の中にあ

もをたぢまひしん
まのめいも まんぢやんと
あつひひもろともうら
えいせいふりてのうら
舟の中よりあはれあ
友づらそぞろんとまを
おこもりれいとん
そのかおちたれい
なやしやうまのれ
よこいさくあつたあぜ
ひめはさくあつたあぜ
なふおちろ見さんの
とよさくうら友づら
切てうき物舟の中にあ



うき物舟の中にあ
まのめいも まんぢやんと
あつひひもろともうら
えいせいふりてのうら
舟の中よりあはれあ
友づらそぞろんとまを
おこもりれいとん
そのかおちたれい
なやしやうまのれ
よこいさくあつたあぜ
ひめはさくあつたあぜ
なふおちろ見さんの
とよさくうら友づら

まのめいも まんぢやんと
あつひひもろともうら
えいせいふりてのうら
舟の中よりあはれあ
友づらそぞろんとまを
おこもりれいとん
そのかおちたれい
なやしやうまのれ
よこいさくあつたあぜ
ひめはさくあつたあぜ
なふおちろ見さんの
とよさくうら友づら
切てうき物舟の中にあ



乙亥春販

さか

後編



東里山人作 春扇画

6

あつし丹せんせいの...
 なんじつに...
 あつし丹せんせいの...
 なんじつに...
 あつし丹せんせいの...
 なんじつに...



あつし丹せんせいの...
 なんじつに...
 あつし丹せんせいの...
 なんじつに...
 あつし丹せんせいの...
 なんじつに...



歌知物商店傳京東山

丹せんハ強はくを強がらびをかを丸か
りつそり出たりのぢんや(ききん)して
ちやうくちやうりんふ
入るれはまてまうがひま入る
いふ大まふめんわくをわきま
ん(き)く(ま)つ(内)の(中)ま
るる(ま)れ(ま)り(り)ち(ち)ん(ん)て
ら(ら)に(に)ま(ま)す(す)ん(ん)ふ

男(男)の(の)山(山)見(見)
せ(せ)る(る)は(は)く(く)



丹せんハ強はくを強がらびをかを丸か
りつそり出たりのぢんや(ききん)して
ちやうくちやうりんふ
入るれはまてまうがひま入る
いふ大まふめんわくをわきま
ん(き)く(ま)つ(内)の(中)ま
るる(ま)れ(ま)り(り)ち(ち)ん(ん)て
ら(ら)に(に)ま(ま)す(す)ん(ん)ふ

丹せん

わやとわや... (Vertical text columns on the right page, top section)



... (Vertical text columns on the right page, bottom section)

... (Vertical text columns on the left page, top section)



... (Vertical text columns on the left page, bottom section)

あつたきまをとりてく...
あつたきまをとりてく...
あつたきまをとりてく...



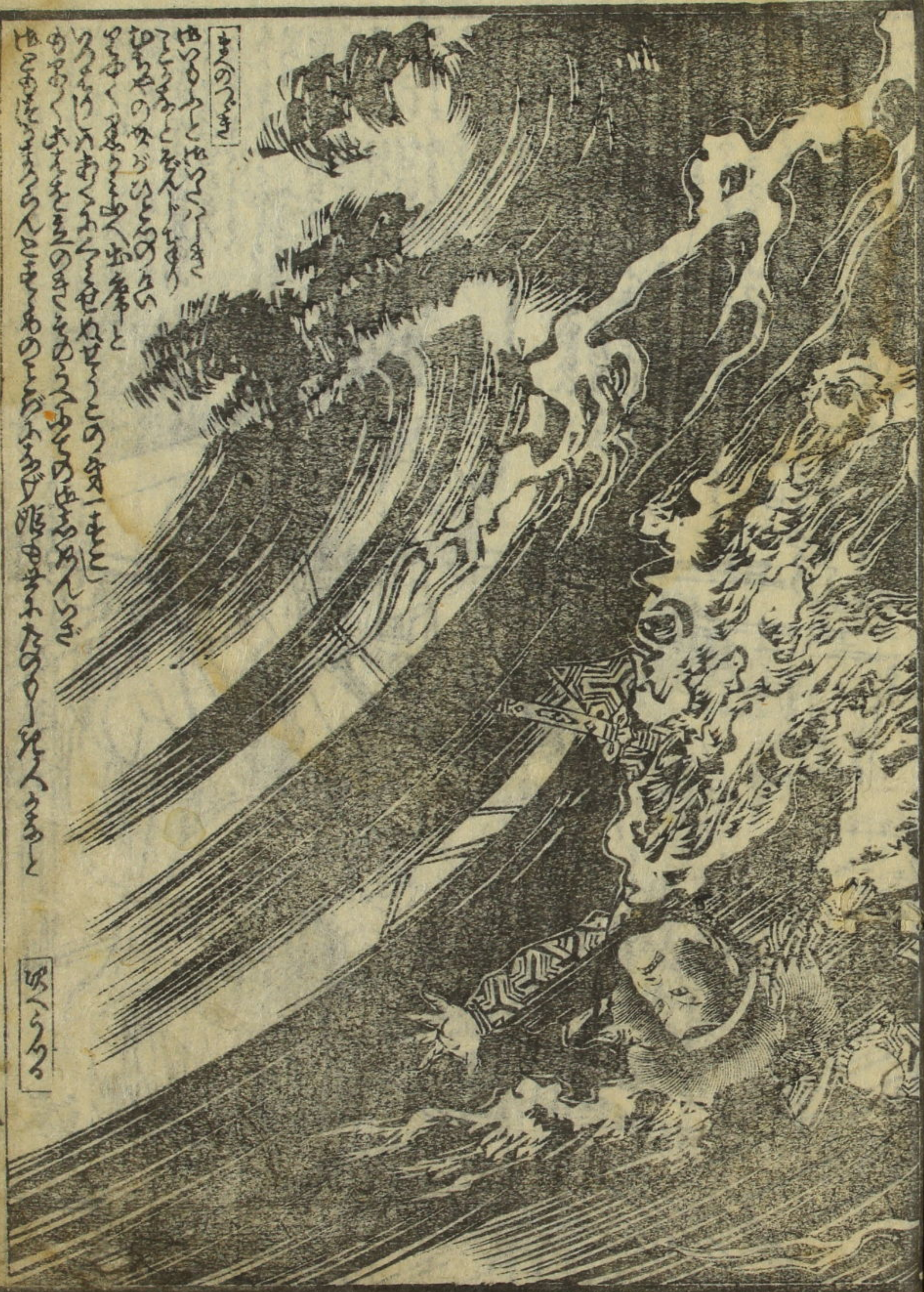
あつたきまをとりてく...
あつたきまをとりてく...
あつたきまをとりてく...

あつたきまをとりてく...
あつたきまをとりてく...
あつたきまをとりてく...

あつたきまをとりてく...
あつたきまをとりてく...
あつたきまをとりてく...

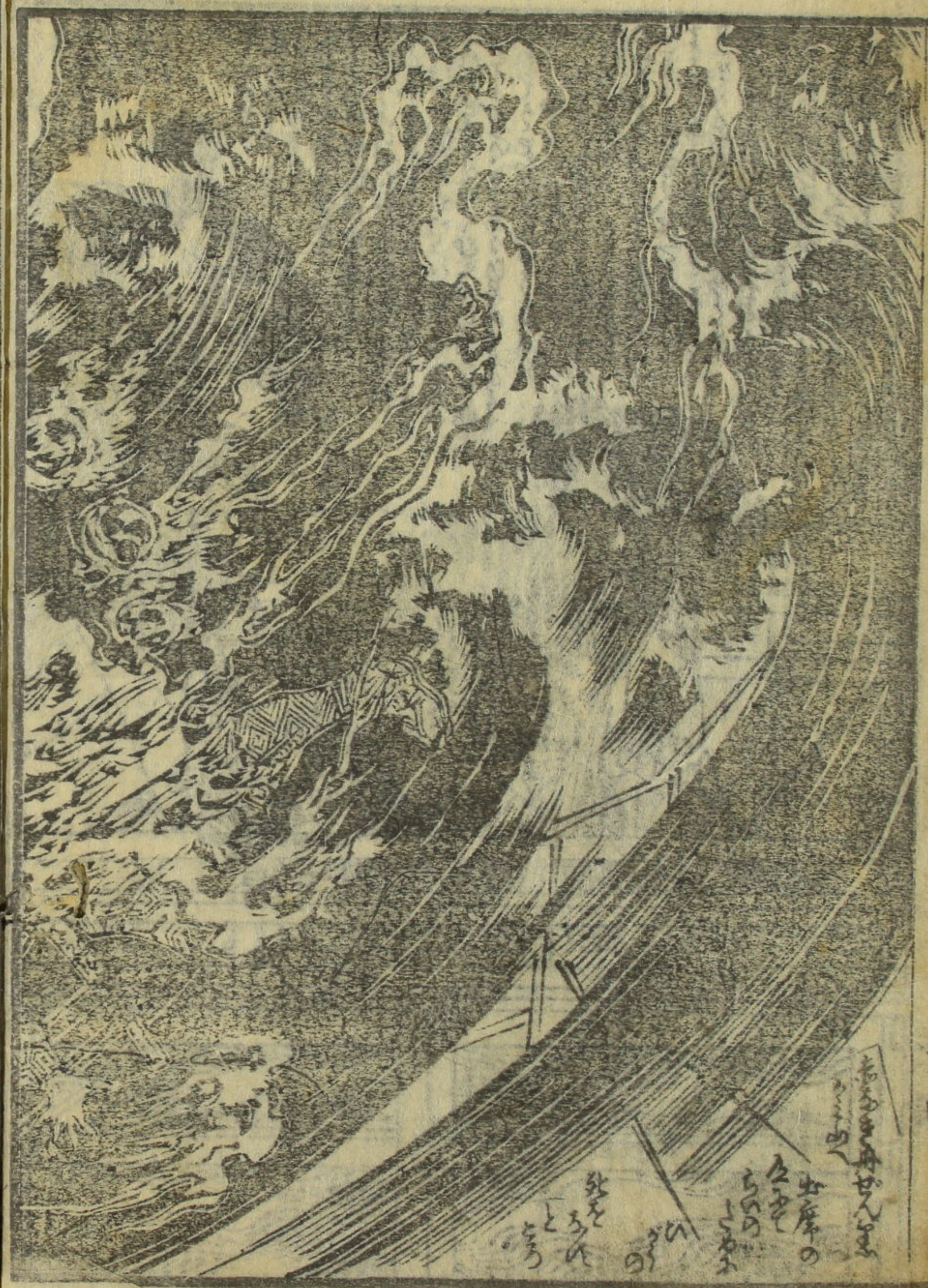


あつたきまをとりてく...
あつたきまをとりてく...
あつたきまをとりてく...



Handwritten text in vertical columns on the left side of the page, likely a chapter title or descriptive text. The text is written in a cursive style.

Small handwritten characters or a signature located at the bottom left of the page.



Handwritten text in vertical columns on the right side of the page, likely a chapter title or descriptive text. The text is written in a cursive style.

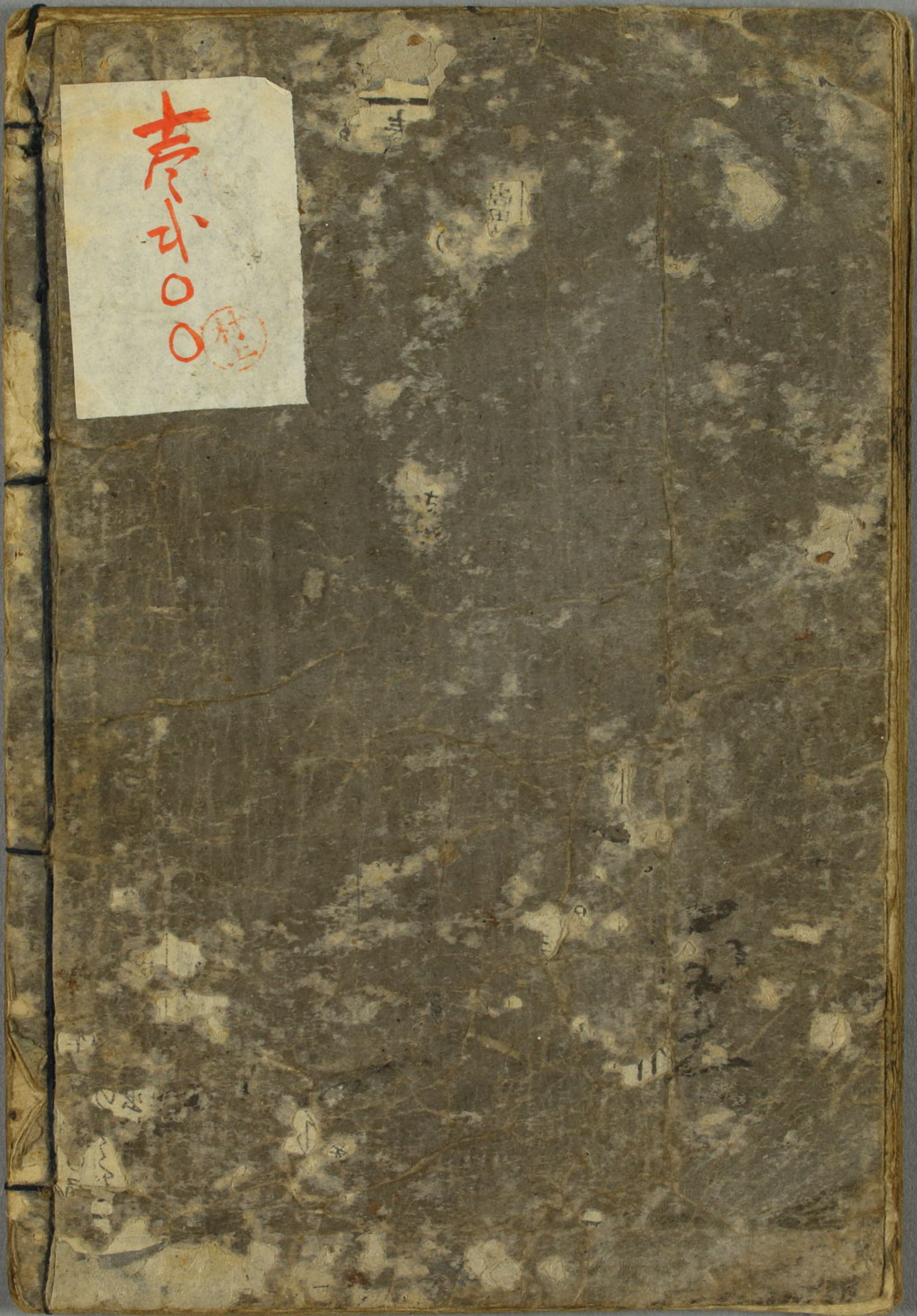
ちりあやうに...
 うとまふひらりて
 られ...
 夕日のてり...
 さうりん...
 久ト入...
 さの...
 ち...
 ち...
 ち...
 ち...
 ち...
 ち...



ねが...
 ま...
 今...
 の...
 な...
 た...
 と...
 過...
 よ...
 ま...
 下...
 の...
 の...
 こ...
 ま...
 山...
 山...
 は...
 世...
 さ...



三十七



長沙

